



# クローズアップ CLOSE UP

アイデアや技術が集結



3月2日にイノベーションの  
祭典、UPDATE EARTH  
2024を日本トーターグリーン  
ドーム前橋で開催しました。トー  
セッションやロボット制作  
ワークショップなどを実施。ビ  
ジネスアイデアのコンペティ  
ションでは、最優秀賞者に1,000  
円が贈呈されました。

命を無駄にせず価値を發揮するため、6年間イタリア料理店で調理師として働いていた長原さん。現在はイタリア料理店を辞めて有害鳥獣として駆除した鹿の肉と骨を使つた犬猫用のジャーキーを作り販売する事業を始めた。

「イタリア料理店での経験から、食材を無駄にしない大切さを学び、料理で使用している肉のルーツを見たいという思いが湧きました。コロナ禍で時間の余裕ができたこともあり、以前から興味を持っていた狩猟を体験し、狩猟免許を取得しました」

獵期には、ベテランの獵師たちと赤城山などの山中に入るようになつた。

恒を生み出す

が多い現状に直面しました。その命の廃棄を目の当たりにしたことで、何もできない自分がふがいないと感じました。そこで、有害鳥獣として駆除した鹿の命を無駄にせず、大好きなペットの役に立つことができる鹿肉を使つた犬猫用のおやつ作りに取り組むことを決意しました』

現在は鹿肉と骨を使ったおやつ作りがメインだが、今後は皮や角などを使つた工芸品作りにも取り組みたいと語る。

「廃棄予定だつたものから価値を生み出す。そして、有害鳥獣の駆除で多くの命が廃棄される前に、他の選択肢を提示できるようになりたいです」

長原さんのアイデアはこれか

A medium shot of a young man with dark hair, wearing a yellow sweatshirt with a graphic of a tree and a skull. He is standing in front of a white pickup truck, leaning against its bed. The background is a dense forest of evergreen trees.

## 未来へ絆築く文化交流

台湾で今も敬愛される富士見出身の羽鳥重郎と羽鳥又男。二人の母校、石井小が高雄市加昌国民小の修学旅行生を2月21日に受け入れ。レフやかんな箸作りなどで交流を深めました。また、ルーローファンなどの台湾給食を2月8日から28日まで全公立小中学校などで提供しました。



## 市議会正副議長が決定

市議会の3月臨時会を3月14日から27日まで開催。初日には副議長を決める投票を実施し、議長に笠原久議員（写真左）、副議長に新井美加議員（写真右）が選出されました。市議会ホームページでは、会議の様子を視聴できます。



スペークスを確保。ジャズが流れる中、牛たちは思い思いに過ごします。A-Iの活用も早くから取り入れ、首についたセンサーで発情期や病気の兆候などを早く検知できるようになります。

平成22年頃からは地域還元型酪農を目指し、元気ファーム20や地元の稻作農家と共に、良質な飼料作りや堆肥の循環を進めています。また、特別支援学校の実習を受け入れ、実習者だけでなく従業員全員で誰もが働きやすい職場作りに取り組んでいます。これら一つ一つの取り組みが評価され、今回の一回の受賞につながりました。

目指すのは、酪農のイメージ改革と、次世代へ継承し地域と共存する経営の形。現在は若者が酪農を通じて叶えたい夢を応援するため、牧場の拡大を計画中です。長年取り組んできた成果が今、花開いています。



須藤晃さん(左)と淳子さん(右)。須藤牧場では淳子さんが作るチーズを販売している